

# 事業別中間評価・後期計画シート（仮）

（参考）

2-03 水道庁舎の耐震化及び防災拠点化

① 水道庁舎の耐震化  
 防災拠点となる水道庁舎の耐震性を確保するため、建替えを行う。

**事業の  
効果**

・水道庁舎の建替えを行うことにより、災害時等に必要となる応急給水や応急復旧対応の拠点が確保できるようになります。

計画と進捗	取り組み	事業費
ビジョン (計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎建替えにより、耐震性を有する防災拠点を整備する。</li> <li>有事の際を考慮した機能的な設計とし、防災拠点機能を構成するスペース(対策本部室、情報収集室、コールセンター室など)を設置する。</li> <li>建替え手法その他の検討に当たっては、水道部内に検討組織を設置して行う。</li> </ul>	第一水源地の撤去 庁舎建替え 約7億円(H28～R2)
進捗 (執行状況)	平成28年度に基本構想・基本計画を策定、平成29年度に基本設計、平成30年度に実施設計を行い、令和元年度より第一期工事（事務所棟を除く既存施設の解体撤去及び新庁舎の建築）に着手済みである。	設計ほか委託 第一期工事 9.2億円（H28～R1）
中間評価	評価理由	
数値 △ -	設計の詳細検討により着工が遅れたため、庁舎建て替え進捗率は目標を下回る達成率となっている。	
内容 △ -	設計の詳細検討を行い約6.7億円の事業費抑制を行ったものの、設計時点での事業費は約40億円であり、当初の想定事業費約7億円を大幅に上回っている。	
前期の課題	基本構想・基本計画において、再整備のコンセプトを大幅に修正したこと等により、基本設計においてビジョン策定当時の想定事業費を大幅に上回ることとなった。このため実施設計において、事業費抑制に向けた仕様の詳細検討に多くの時間を要することとなった。また、第一期工事の施工業者選定に当たり、入札不調による再公告を実施することとなり、着工時期にも遅れが出た。	
後期の懸案	近隣及び庁舎利用者、通常業務への影響に十分配慮しながら工事を進めることができるよう、安全対策及び進行管理を徹底する必要がある。	
後期計画	取り組み 現時点での事業の遅れを見込んだ目標値を再設定し、事業を進める。工程管理に留意し、前倒しできる部分は前倒しにするなど、事業全体ができるだけ早期に完了するように努める。	事業費

作業中

事業別中間評価・後期計画シート（仮）

（参考）

